

若林地区 ウォーキング コース

全長3.1km

タンポポロード 若林



ウォーキングコース

若林交流館 (起終点)	1.4km	石橋
石橋	1.2km	若林八幡宮
若林八幡宮	0.5km	若林交流館 (起終点)



見どころ

●タンポポロード

平成12年若林コミュニティ会議まちづくり委員長の廣瀬武夫氏が逢妻男川堤防一帯を「タンポポに包まれた散歩道にしたい」と願って西洋タンポポを植えたことに由来しています。
のどかな自然環境との共生のため、地域住民が集う「水辺の緑の回廊づくり」も続けられており、ウォーキングだけでなく区民憩いの場としても楽しさがいっぱいです。

●若林八幡宮

天喜2年(1054)、村の産土神として始まりました。
菅田別尊のほか、境内には、津島社・秋葉社・稲荷社が祀られています。5と0の日は朝市が行われています。

●浄照寺

永仁4年(1296)若林領主若林小左衛門屋敷跡に建立され、若林発祥の地でもあります。
平成17年に本堂・庫裏・書院が国の有形文化財に登録され、天正19年(1591)に京都の本願寺に建てられた本願寺教如上人と徳川家康が会談した北ノ御所が平成22年に移築されました。
市内で一番高いクロマツが市の名木に指定されています。

●円楽寺

永生年間(1504~1521)、若林城主本田四郎左衛門親平が建てた草庵が始まりと言われています。
境内には市の名木に指定されたクロマツとゴヨウマツがあります。

●若林城址(若林城:1499~1504)

本田四郎左衛門親平が上ノ山の地に築城しました。

●石仏苑

高美町7丁目のちびっこ広場に隣接して石仏苑があります。160対あまりの石仏は、山林に点在していたものが昭和37年高美団地の造成により、集められたものです。毎年4月に供養祭が行われます。

●宮間のお不動さん(厄除け不動明王)

300年の歴史を持つ由緒あるお不動さんです。若林一の高台から四方八方に目配りし、皆様の健康と幸せを願い鎮座しております。80cmの木彫り像と、右に制叱迦童子、左に猊羯羅童子の不動三尊です。

